

コミわかグリーン倶楽部の報告

「コミわか農園」を更に充実

— KGCの定時総会が開催される —

昨年2月に発足した(社)コミわかグリーン倶楽部(KGC)は、定時総会を1月25日(火)に開催し、平成23年度の事業計画、予算等を議決して2年目の活動をスタートしました。

2年目の主な事業は、第一に継続事業の市民農園「コミわか農園」未完成部分約25区画を早期に整備して、現在の33区画から58区画にして、利用希望者が一日も早く耕作できるようにすること。



花岡専務理事(立っている)の説明

指定管理者事業もスタート

二番目は長野市営の市民農園「蚊里田サラダパーク」(若槻東条)の指定管理者事業をスタートさせることです。これは、今年の4月から5年間の事業となります。三番目は、今以上に耕作放棄地を増やさないために「貸したい農地」と「借りたい人」の情報交換。農業を手伝いたい人を農家に紹介する農家支援の情報提供のツールづくり。

産地直送で販売できる場の提供などを研究し実践していきます。今年度の予算総額は、約110万円の規模となります。総会に参加した賛助会員の一人は「事業の中身が良く分かった。地区のためにやれることから少しずつやっっていこうという団体だ。帰ったら百姓やっている皆に話してみる」と話してくれました。

賛助会員を募集しています。大勢の参加で、若槻全体に取り組みの輪を広げていきたいと考えています。

[注]グリーン倶楽部の年度は1月-12月。

自然環境部の報告

環境行政に関する意見交換会

CO2削減
エコ推進部会

1月17日(月)、コミュニティセンターで環境部会の主催により、環境行政に関する意見交換会が開催され、約30名の参加がありました。

この会議は、長野市が策定している第二次環境基本計画を見直すにあたり、地域での環境に関する取り組みの現状や課題等を把握し、計画に反映できるようにするためのものです。

市環境政策課松本部主幹から「長野市環境基本計画」、「地球温暖化対策地域推進計画」についての説明があり、若槻地区の環境についての取り組み「河川水質調査」、「ホタル整備事業」など状況を説明しながら意見交換をしました。

また、太陽光発電の設置やゴミ集積所の設置などに関する要望がありました。

ほたるサポーターズクラブ結成

自然環境部では、平成18年度から土京川に生息するホタルの再生活動に取り組んでいました。その結果、年々ホタルの生息数も増加してまいりました。

これからも豊かな自然資源の保護活動を継続させるため、「ほたるサポーターズクラブ」の組織を結成し活動部隊として、コミわかと協働することになりました。

興味のある方、お手伝いしたい方は、事務局(若槻支所296-3908)へ問い合わせください。